

感染症

PRESENTED BY AMERICA'S BIOPHARMACEUTICAL COMPANIES

感染症に対する医薬品開発を継続中、 薬剤およびワクチン388種が試験段階に

感染症は、人類の歴史を通じてこれまでに多くの生命を奪い、障害をもたらしてきました。1920年代に入ると、感染症は米国における主要な死因でした。今日、ワクチンや抗生物質が効果的な治療法として確立されていますが、感染症は依然として深刻な脅威となっています。最近、ブドウ球菌など感染症病原体の一部が、既存の治療薬に対して耐性を持つようになりました。また、結核などのすでに克服されたと考えられていた疾病が再び新たな脅威となっています。その他にも、感染症病原体が遺伝子操作され、バイオテロ攻撃に使用される可能性も指摘されています。

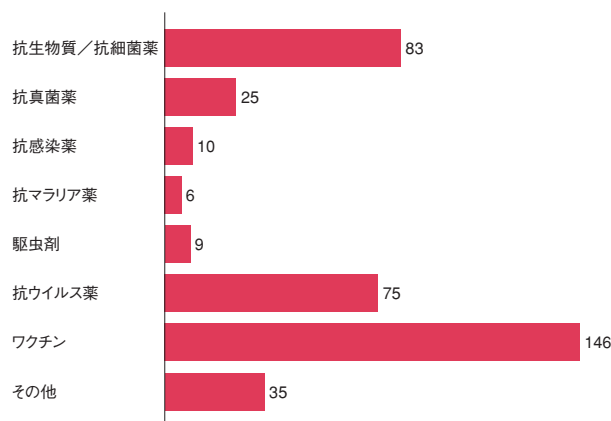
米国の製薬企業は、人類史上最も古く、克服のため最も努力が必要とされる感染症と戦うべく、388種の薬剤とワクチンの開発を行っています。これら開発中の薬剤は、いずれも臨床試験段階または米食品医薬品局（FDA）の承認待ち段階にあります。

現在臨床試験段階にある薬剤には、抗生物質／抗細菌薬83種、肝炎、ヘルペス、インフルエンザなどのウイルスに対抗する抗ウイルス治療薬75種、ブドウ球菌感染症や肺炎球菌性感染症などを予防するワクチン146種があります。本報告書では、開発中のHIV感染症治療薬を取り上げていませんが、米国研究製薬工業協会（PhRMA）が実施した2006年の調査によると、77種のHIV/エイズおよびエイズ関連疾患の治療薬とワクチンが開発中です。

感染症の治療薬候補には次のようなものがあります。

- ・黄色ブドウ球菌の耐性菌を選択的に阻害するファースト・イン・クラスの薬剤1種
- ・新しいクラスの薬剤で、自然免疫を制御するC型肝炎治療薬1種。この新薬は特定の免疫細胞上にある特定の受容体と相互作用すると考えられています
- ・細菌戦争に対抗するワクチンの効果を高め、予防接種の回数を減らし、免疫形成を促進するワクチンアジュバント1種

開発中の感染症治療薬※



※2つ以上の分野に分類されている薬剤もある

- ・結核を引き起こすバクテリアのライフサイクルを止める薬剤1種
- ・黄色ブドウ球菌に対する抗生物質の効果が薄れたことを受け、感染そのものを防ぐワクチン数種

製薬企業は、その他にも真菌感染症、ヘルペス、インフルエンザ、マラリア、髄膜炎、肺炎、呼吸器感染症、ロタウイルス、敗血症、天然痘、尿路感染症などの治療薬の開発にも取り組んでいます。

感染症を撲滅することは不可能です。しかし、新しい知識や技術、米国政府と米国の研究志向型製薬企業による膨大な資源の投入により、常に変化する感染症の脅威に対処することが可能なのです。

ビリー・トーザン
PhRMA理事長